

## 報道各社御中 ← 環境省広報室

京都府の飼養鳥での高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う  
野鳥緊急調査チームによる調査の結果について  
(H28.12.28 19:15)

京都府京都市で12月22日に回収されたコブハクチョウ(飼養鳥)について、高病原性鳥インフルエンザウイルスの感染が判明したことを受けて、12月27日(火)から28日(水)に野鳥緊急調査チームを現地に派遣し、現地の野鳥の生息状況等の調査を実施しましたので、以下のとおりその結果をお知らせします。

### 1 調査結果

12月27日～28日にかけて、京都府京都市の発生地点周辺半径10km圏の野鳥監視重点区域内において、渡り鳥の飛来地等の計11地点において野鳥の飛来状況等を調査。野鳥の大量死は認められなかった。

なお、調査チーム派遣期間内に野鳥監視重点区域内において京都府が回収した死亡野鳥個体については、すべて簡易検査陰性であった。現在、国立環境研究所にて遺伝子検査中。

#### (参考)

○観察された鳥類 48種

うち、リスク種1 3種(オシドリ、キンクロハジロ、オオタカ)

リスク種2 6種(マガモ、ホシハジロ、オオバン等)

リスク種3 14種(コガモ、ヒドリガモ、カワウ等)

○調査期間中(12月27日～28日)に京都府により回収された現在遺伝子検査中の死亡野鳥個体は、オオバン(リスク種2)3羽

\*本調査結果は暫定値です。

\*リスク種とは:「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」において、感染して死亡しやすい種を中心に設定

### 2 今後の対応

野鳥監視重点区域において、京都府と連携し、引き続き野鳥の監視を実施。

**※ 環境省はホームページで野鳥における高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。**([http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird\\_flu/](http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/))

平成28年12月28日(水)

自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室

直 通：03-5521-8285

代 表：03-3581-3351

公用携帯：080-2333-6933

公用携帯：090-8940-8582

企 画 官：東岡 礼治 (内線6475)

鳥獣専門官：根上 泰子 (内線6676)

自然環境局総務課動物愛護管理室

代 表：03-3581-3351

直 通：03-5521-8331

公用携帯：080-2255-3178

室 長：則久 雅司 (内線6651)

室長補佐：徳田 裕之 (内線6652)

近畿地方環境事務所野生生物課

直 通：06-4792-0706

公用携帯：080-1500-2383

課 長：鑪 雅哉

課長補佐：深田 富士雄